

Document made available under the Patent Cooperation Treaty (PCT)

International application number: PCT/JP05/012090

International filing date: 30 June 2005 (30.06.2005)

Document type: Certified copy of priority document

Document details: Country/Office: JP
Number: 2005-086397
Filing date: 24 March 2005 (24.03.2005)

Date of receipt at the International Bureau: 02 August 2005 (02.08.2005)

Remark: Priority document submitted or transmitted to the International Bureau in compliance with Rule 17.1(a) or (b)



World Intellectual Property Organization (WIPO) - Geneva, Switzerland
Organisation Mondiale de la Propriété Intellectuelle (OMPI) - Genève, Suisse

PCT/JP2005/12090
06.7.2005

日本特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 Date of Application: 2005年 3月24日

出願番号 Application Number: 特願2005-086397

パリ条約による外国への出願
に用いる優先権の主張の基礎
となる出願の国コードと出願
番号
The country code and number
of your priority application,
to be used for filing abroad
under the Paris Convention, is

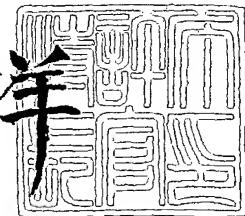
J P 2005-086397

出願人 Applicant(s): イリソ電子工業株式会社

2005年 6月10日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

小川洋



出証番号 出証特2005-305035

【書類名】 特許願
【整理番号】 1-36-153
【提出日】 平成17年 3月24日
【あて先】 特許庁長官 殿
【国際特許分類】 H01R 12/28
【発明者】
【住所又は居所】 神奈川県川崎市高津区北見方2丁目35番8号 イリソ電子工業
株式会社内
【氏名】 吉開 靖芳
【特許出願人】
【識別番号】 390012977
【氏名又は名称】 イリソ電子工業株式会社
【代理人】
【識別番号】 100069981
【弁理士】
【氏名又は名称】 吉田 精孝
【電話番号】 03-3508-9866
【選任した代理人】
【識別番号】 100087860
【弁理士】
【氏名又は名称】 長内 行雄
【電話番号】 03-3508-9866
【手数料の表示】
【予納台帳番号】 008866
【納付金額】 16,000円
【提出物件の目録】
【物件名】 特許請求の範囲 1
【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1
【包括委任状番号】 0010292

【書類名】特許請求の範囲**【請求項 1】**

接続対象物の一端を所定位置に挿入可能なコネクタ本体と、コネクタ本体に挿入された接続対象物に接触する複数の端子と、コネクタ本体内に挿入されることにより接続対象物を各端子側に押圧する押圧部材とを備え、コネクタ本体の端子配列方向両端側に係止部を突設し、接続対象物をコネクタ本体に挿入すると、接続対象物の先端側が係止部を乗り越えるとともに、接続対象物の両側端部に設けた切欠部が係止部に嵌合して反挿入方向に係止するようにしたコネクタにおいて、

前記係止部を非弾性部材によって形成するとともに、

コネクタ本体の端子配列方向両端側に、コネクタ本体内に挿入された接続対象物の一方の面に接触しながら所定方向に弾性変形し、接続対象物の切欠部が係止部に嵌合すると、接続対象物を係止部との嵌合方向に付勢しながら復元する仮保持部材を設けた

ことを特徴とするコネクタ。

【請求項 2】

前記係止部をコネクタ本体と一緒に形成した

ことを特徴とする請求項 1 記載のコネクタ。

【請求項 3】

前記係止部の前端部をコネクタ本体の後方に向かって上り傾斜をなすように形成した

ことを特徴とする請求項 1 または 2 記載のコネクタ。

【請求項 4】

前記係止部を各端子が接続対象物との接触方向に突出した高さよりも高くなるように形成した

ことを特徴とする請求項 1、2 または 3 記載のコネクタ。

【請求項 5】

接続対象物の一端を所定位置に挿入可能なコネクタ本体と、コネクタ本体に挿入された接続対象物に接触する複数の端子と、コネクタ本体内に挿入されることにより接続対象物を各端子側に押圧する押圧部材とを備えたコネクタにおいて、

コネクタ本体の端子配列方向両端側に、コネクタ本体に挿入された接続対象物の一方の面に接触しながら所定方向に弾性変形し、接続対象物をコネクタ本体の所定位置まで挿入すると、接続対象物の両側端部に設けた切欠部に復元しながら嵌合する仮保持部材を設けた

ことを特徴とするコネクタ。

【請求項 6】

前記仮保持部材にコネクタ本体が接続される基板に接続するための接続部を設けた

ことを特徴とする請求項 1、2、3、4 または 5 記載のコネクタ。

【書類名】明細書

【発明の名称】コネクタ

【技術分野】

[0 0 0 1]

【0001】本発明は、例えばフレキシブルプリント基板(FPC)やフレキシブルフラットケーブル(FFC)等を接続するためのコネクタに関するものである。

【背景技术】

[0 0 0 2]

従来、この種のコネクタとして、接続対象物の一端を所定位置に挿入可能なコネクタ本体と、コネクタ本体に挿入された接続対象物に接触する複数の端子と、コネクタ本体内に設けられた導電部と端子との接点部において接続対象物を仮保持するための仮保持部材を備え、接続対象物が押圧部材によって押圧される前にコネクタ本体から抜け脱ることにより、接続対象物が押圧部材によって押圧されることを防止するようにしたものが知られている。また、位置ずれによって接触不良が生じることを防止するようにしたものが知られている。

○

[0 0 0 3]

しかしながら、このコネクタでは、仮保持部材によって接続対象物が仮保持されたことを確認することができないので、接続対象物がコネクタ本体に完全に挿入されていない状態で各端子に接続対象物の導電部が接触して通電する場合がある。このとき、接続対象物が押圧部材によって端子側に押圧される前にコネクタ本体から抜け出したり、接続対象物と各端子との間に位置ずれが生じて、接触不良や接続対象物の導電部に条線が付く等の破損が生じるという問題点があった。

[0 0 0 4]

そこで、コネクタ本体内の端子配列方向両端側に接続対象物を係止するための弾性支持片を設けることにより、接続対象物をコネクタ本体に挿入したときに接続対象物の両側端部を設けることにより、接続対象物をコネクタ本体に挿入したときに接続対象物の両側端部に設けた切欠部が弾性支持片に嵌合して、弾性支持片との係止により接続対象物の反挿入方向への移動を規制することで接続対象物を仮保持するようにしたものが知られている。

(例えば特許文献1参照)。

【特許文献1】特開2003-100370号公報

【登明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

【0005】しかしながら、接続対象物が弾性支持片によってコネクタ本体に仮保持された状態においても、接続対象物を反挿入方向に引き出すと、弾性支持片が弾性変形して接続対象物と同様に接続対象物が不十分な状態で仮保持されることになるので、接続対象物がコネクタ本体から抜け出したり、接続対象物の導電部に条線が付く等の破損が生じるのを防止することができないという問題点があった。

[0006]

本発明は前記問題点に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、接続対象物が完全に挿入されたことを挿入操作時の感触によって確認することができるとともに、接続対象物を確実に仮保持することができるコネクタを提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0007】

【0007】 本発明は、前記目的を達成するために、接続対象物の一端を所定位置に挿入可能なコネクタ本体と、コネクタ本体に挿入された接続対象物に接触する複数の端子と、コネクタ本体内に挿入されることにより接続対象物を各端子側に押圧する押圧部材とを備え、コネクタ本体の端子配列方向両端側に係止部を突設し、接続対象物をコネクタ本体に挿入すると、接続対象物の先端側が係止部を乗り越えるとともに、接続対象物の両側端部に設けた切欠部が係止部に嵌合して反挿入方向に係止するようにしたコネクタにおいて、前記係止

を非弾性部材によって形成するとともに、コネクタ本体の端子配列方向両端側に、コネクタ本体内に挿入された接続対象物の一方の面に接触しながら所定方向に弾性変形し、接続対象物の切欠部が係止部に嵌合すると、接続対象物を係止部との嵌合方向に付勢しながら復元する仮保持部材を設けている。

【0008】

これにより、接続対象物がコネクタ本体に完全に挿入されたとき、即ち接続対象物の切欠部が係止部に嵌合したときには、仮保持部材によって付勢された接続対象物が係止部との嵌合方向に押圧されながら嵌合する感触が接続対象物を介して得られる。また、接続対象物は反挿入方向に係止されているので、接続対象物を反挿入方向に移動させることができない。

【0009】

また、本発明は、接続対象物の一端を所定位置に挿入可能なコネクタ本体と、コネクタ本体に挿入された接続対象物に接触する複数の端子と、コネクタ本体内に挿入されることにより接続対象物を各端子側に押圧する押圧部材とを備えたコネクタにおいて、コネクタ本体の端子配列方向両端側に、コネクタ本体に挿入された接続対象物の一方の面に接触しながら所定方向に弾性変形し、接続対象物をコネクタ本体の所定位置まで挿入すると、接続対象物の両側端部に設けた切欠部に復元しながら嵌合する仮保持部材を設けている。

【0010】

これにより、接続対象物がコネクタ本体に完全に挿入されたとき、即ち接続対象物がコネクタ本体の所定位置まで挿入されたときには、仮保持部材が元の形状に復元しながら接続対象物の切欠部に嵌合する感触が接続対象物を介して得られる。また、接続対象物の切欠部が仮保持部材に嵌合されているので、接続対象物を反挿入方向に移動させることができない。

【発明の効果】

【0011】

本発明によれば、接続対象物がコネクタ本体に完全に挿入されたことを、挿入操作時の感触によって確認することができるので、接続対象物が未完全挿入状態で接続されることはなく、しかも接続対象物を反挿入方向に移動させることができないので、接続対象物がコネクタ本体から抜け出したり、接触不良や接続対象物の導電部に破損が生じるのを確実に防止することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0012】

図1乃至図8は本発明の第1の実施形態を示すもので、図1はコネクタの斜視図、図2はコネクタの正面図、図3はコネクタの平面断面図、図4はフレキシブルケーブルの平面図、図5乃至図7はコネクタの動作を示すB-B断面図、図8はコネクタの動作を示すC-C断面図である。

【0013】

このコネクタは、接続対象物としてのフレキシブルケーブルAの一端を挿入可能なコネクタ本体10と、コネクタ本体10に挿入されたフレキシブルケーブルAの接点と電気的に接触する複数の端子20と、フレキシブルケーブルAを各端子20側に押圧する押圧部材30と、コネクタ本体10に挿入されたフレキシブルケーブルAを仮保持する仮保持部材40とから構成されている。

【0014】

フレキシブルケーブルAは、いわゆるフレキシブルフラットケーブル(FFC)と称されるものであり、その先端側の上方及び下方の両面には複数の導電部A1が互いに幅方向に間隔をおいて設けられている。また、フレキシブルケーブルAの両側端部には左右一対の切欠部A2が設けられており、各切欠部A2の前面、即ち各仮保持部材40が係止する面は、下方に向かって平面をなす前端面A2aによって形成されている。なお、接続対象物としては、フレキシブルプリント回路(FPC)等であってもよい。

【0015】

コネクタ本体10は非弾性部材（例えば合成樹脂）の成形品からなり、前面側を開口した箱状に形成されている。即ち、コネクタ本体10は、上面部11、背部部12、側面部13及び底面部14からなり、その前面開口部からフレキシブルケーブルAが挿入されるようになっている。背部部12には、複数の端子孔12aが互いに幅方向に等間隔で設けられ、各端子孔12aには各端子20がそれぞれ保持されるようになっている。また、各端子孔12aの配列方向両端側には、一対の仮保持孔12bが設けられ、各仮保持孔12bには各仮保持部材40がそれぞれ保持されるようになっている。各側面部13には、それぞれ前後方向に延びる長孔13aが設けられ、各長孔13aに押圧部材30を係合する各とともに、各長孔13aの前端部13bに押圧部材30を係止するようになっている。各端子孔12aの配列方向両端側にはコネクタ本体10と一体に形成された左右一対の係止部15が上方に向かって突設されており、各係止部15にフレキシブルケーブルAの各切欠部A2を係止するようになっている。また、各係止部15は、各端子20がフレキシブルケーブルAとの接触方向、即ち上方に突出した高さよりも高く形成されており、その前部は、コネクタ本体10の後方に向かって上り傾斜をなすように形成されている。

[0016]

各端子20は導電性の金属板からなり、コネクタ本体10の各端子孔12aにそれぞれ保持されている。各端子20は、互いに上下方向に間隔をおいて前方に二股状に延びる固定片部21及び弾性片部22を有し、その後端には基板(図示せず)に接続される基板接続部23が設けられている。

[0017]

押圧部材30は合成樹脂の成形品からなり、コネクタ本体10の外部に配置される操作部31と、コネクタ本体10内に配置される押圧片32と、コネクタ本体10内に挿入される左右一対のアーム部33とから構成されている。操作部31は押圧部材30の幅方向に延び、その両端には把持部31aが突設されている。また、操作部31の下面中央にはフレキシブルケーブルAを挿通可能な凹部31bが設けられている。押圧片32は操作部31の背面中央から後方に延び、各端子20の固定片部21の下方に位置するようになつていている。また、押圧片32の厚さ寸法は、先端側に向かって徐々に小さくなるように形成されている。また、押圧片32の厚さ寸法は、先端側に向かって徐々に小さくなるように形成されている。各アーム部33は操作部31の背面両端側から後方に向かって延び、それぞれでアーム部33の先端には長孔13aの前端部13bに係止する係止片33aが幅方向に突出するように設けられ、係止片33aの前面、即ち各長孔13aの前端部13bに係止片33aが設けられ、係止片33aの前面、即ち各長孔13aの前端部13bに係止するように設けられる。また、各アーム部33の前後方向中央部には幅方向に突出する山形の突起部33cが設けられ、アーム部33が前後方向に移動する際、アーム部33の弾性変形により突起部33cが長孔13aの前端部13bを強制的に乗り越えるようになっている。

【0018】

各仮保持部材40は導電性の金属板からなり、コネクタ本体10の各仮保持孔12bに各仮保持部材40の上部には前方に延びるとともに上方に弾性性それぞれ保持されている。各仮保持部材40の上部には前方に延びるとともに上方に弾性性変形するように形成された弾性片41が設けられており、さらに弾性片41の先端には下方に突出した突片41aが設けられている。また、各仮保持部材40の後端には、基板に接続される接続部42が設けられている。

[0019]

以上のように構成されたコネクタにおいては、各端子20の基板接続部23及び各仮保持部材40の接続部42を基板に半田付けすることにより、各端子20及び各仮保持部材40が基板に接続される。また、フレキシブルケーブルAをコネクタに接続する場合は、図5に示すように押圧部材30を前方に引き出すことにより、フレキシブルケーブルAがコネクタ本体10内に挿入可能となる。即ち、押圧部材30の押圧片32の厚さ寸法は、先端側に向かって徐々に小さくなるように形成されているので、押圧部材30が前方に移動すると、底面部14と押圧片32との間隔が広がり、フレキシブルケーブルAが底面部14と押圧片32との間に挿入可能となる。また、押圧部材30を前方に引き出すと、各

アーム部33の突起部33cが長孔13aの前端部13bを乗り越えるとともに、長孔13aの前端部13bにアーム部33の係止片33aが係止することにより、押圧部材30が引き出し位置に保持される。その際、係止片33aの傾斜面33bが長孔13aの前端部13bに当接し、突起部33cによる押圧部材30の前方位置への保持力によって傾斜面33bが長孔13aの前端部13bに沿って垂直になろうとする。これにより、図5に示すように押圧部材30が上方に回動してその前端側が上昇し、フレキシブルケーブルAの挿入が容易になる。

【0020】

次に、フレキシブルケーブルAをコネクタ本体10に挿入すると、フレキシブルケーブルAの先端の幅方向両端側が各係止部15の前端部に当接した後、各係止部15の前端側の傾斜面に案内されながら各係止部15の上面に乗り上げる。そして、図6に示すように、フレキシブルケーブルAの先端の幅方向両端側が各仮保持部材40に接触した後、各仮保持部材40の弹性片41がフレキシブルケーブルAの上面に沿って上方に弹性変形する。さらに、図7に示すように、フレキシブルケーブルAをコネクタ本体10の後方に向け挿入すると、フレキシブルケーブルAの先端が各係止部15を乗り越えるとともに、フレキシブルケーブルAの各切欠部A2とコネクタ本体10の各係止部15とが嵌合して、フレキシブルケーブルAが下方に移動する。このとき、弹性変形した各仮保持部材40の弹性片41がフレキシブルケーブルAを下方に付勢しながら元の形状に復元する。そして、フレキシブルケーブルAが各仮保持部材40に押圧されながら各係止部15に嵌合する感触がフレキシブルケーブルAを介して外部に伝わる。また、フレキシブルケーブルAの各切欠部A2が各係止部15に嵌合すると、図8に示すようにフレキシブルケーブルAの各導電部A1と各端子20の弹性片部22とが接触するとともに、フレキシブルケーブルAの各切欠部A2が各係止部15に係止する。これにより、フレキシブルケーブルAは各仮保持部材40によってコネクタ10内に仮保持される。この場合、フレキシブルケーブルAは、非弹性部材からなる各係止部15によって反挿入方向、即ちコネクタ本体10の前方に係止されているので、各係止部15の変形によって係止が解除されることでコネクタ本体10から抜け出したり、各端子20との間に位置ずれを生じることがない。さらに、仮保持部材40は接続部42を介して基板に接続されているので、フレキシブルケーブルAとともにコネクタ本体10の前方に引き抜かれることがない。

【0021】

このように、本実施形態のコネクタによれば、各係止部15を非弹性部材によって形成するとともに、コネクタ本体10の端子配列方向両端側に、コネクタ本体10内に挿入されたフレキシブルケーブルAの上面に接触しながら上方に弹性変形し、フレキシブルケーブルAの切欠部A2が係止部15に嵌合すると、フレキシブルケーブルAを下方に付勢しながら復元する仮保持部材40を設けたので、フレキシブルケーブルAがコネクタ本体10に完全に挿入されたとき、即ちフレキシブルケーブルAの各切欠部A2が各係止部15に嵌合したときには、仮保持部材40によって付勢されたフレキシブルケーブルAが下方に押圧されながら各係止部15に嵌合する感触がフレキシブルケーブルAを介して得られる。また、フレキシブルケーブルAをコネクタ本体10の前方に引き抜くことができない。従って、フレキシブルケーブルAが未完全挿入されるのを防止できるので、フレキシブルケーブルAがコネクタ本体10から抜け出したり、フレキシブルケーブルAの導電部A1と各端子20の弹性片部22との間に位置ずれが生じて接触不良になるのを確実に防止することができる。

【0022】

さらに、各係止部15をコネクタ本体10と一緒に形成したので、フレキシブルケーブルAと接触することによって各係止部15の位置ずれが生じてフレキシブルケーブルAの切欠部A2と各係止部15とが嵌合しなくなることを防止でき、フレキシブルケーブルAを完全に挿入したときは、フレキシブルケーブルAの各切欠部A2と各係止部15とを確実に嵌合させることができる。

【0023】

さらに、各係止部15の前端部をコネクタ本体10の後方に向かって上り傾斜をなすように形成したので、フレキシブルケーブルAの先端の幅方向両端側が各係止部15の前端部に当接した後、各係止部15の前端部の傾斜面に案内されながら各係止部15の上面に乗り上げることにより、フレキシブルケーブルAを容易にコネクタ本体10の後方に挿入することができる。従って、フレキシブルケーブルAをコネクタ本体10に挿入するときには、フレキシブルケーブルAの先端が各係止部15の前端部に当接することによって挿入が妨げられることがないという利点がある。

【0024】

さらに、各係止部15を、各端子20がフレキシブルケーブルAとの接触方向、即ち上方に突出した高さよりも高くなるように形成したので、フレキシブルケーブルAをコネクタ本体10に挿入するときに、フレキシブルケーブルAの各導電部A1が各端子20に接觸することができない。従って、各端子20との接觸によってフレキシブルケーブルAの各導電部A1に条線等が付く等の損傷を確実に防止することができる。

【0025】

以下に、本発明の第2の実施形態として、係止部を設けない場合の構成について説明する。

【0026】

図9乃至図11はコネクタの動作を示すB-B断面図、図12はコネクタの動作を示すC-C断面図であり、図9乃至図12において前記実施形態と同一構成の部分は同一符号を付して示し、その説明を省略する。なお、図9に示すように、コネクタ本体10には各係止部15が設けられていない。

【0027】

ここで、図9に示すように、フレキシブルケーブルAをコネクタ本体10に挿入する際、フレキシブルケーブルAはコネクタ本体10の底面部上面に沿って挿入される。そして、図10に示すように、フレキシブルケーブルAの先端の幅方向両端側が各仮保持部材40に接觸した後、各仮保持部材40の弾性片41がフレキシブルケーブルAの上面に沿つて上方に弾性変形する。さらに、図11に示すように、フレキシブルケーブルAをコネクタ本体10の後方に向けて挿入すると、フレキシブルケーブルAの先端が各端子孔12aの前面に当接し、当接した位置においてフレキシブルケーブルAの挿入方向への移動が規制される。このとき、弾性変形した各仮保持部材40の弾性片41が元の形状に復元しながらフレキシブルケーブルAの切欠部A2に嵌合し、さらに弾性片41の突片41aが切欠部A2の前端面A2aに当接する。これにより、フレキシブルケーブルAは各仮保持部材40によってコネクタ10内に仮保持される。この場合、各仮保持部材40がフレキシブルケーブルAに嵌合したときに、フレキシブルケーブルAが各仮保持部材40によって下方に押圧される感触がフレキシブルケーブルAを介して外部に伝わる。また、フレキシブルケーブルAは、端子孔12a及び仮保持部40によって前後方向に係止されているので、コネクタ本体10から抜け出したり、各端子20との間に位置ずれが生じることがない。さらに、各仮保持部材40は接続部42を介して基板に接続されているので、フレキシブルケーブルAとともにコネクタ本体10の前方に引き抜かれることがない。

【0028】

また、図12に示すように、押圧部材30の押圧片32をコネクタ本体10の後方に向けて挿入すると、フレキシブルケーブルAを介して押圧片32と底面部14との間隔が徐々に狭くなり、押圧片32によってフレキシブルケーブルAが底面図14側に押圧される。このとき、フレキシブルケーブルAと各端子20の弾性片部22とが互いに圧接して電気的に接続される。

【0029】

このように、本実施形態のコネクタによれば、コネクタ本体10の各端子20配列方向両端側に、コネクタ本体10に挿入されたフレキシブルケーブルAの上面に接觸しながら上方に弾性変形し、フレキシブルケーブルAをコネクタ本体10の各端子孔12aの前面に当接するまで挿入すると、フレキシブルケーブルAの切欠部A2に復元しながら嵌合す

る仮保持部材40を設けたので、仮保持部材40が切欠部A2に嵌合したときには、各仮保持部材40が元の形状に復元しながらフレキシブルケーブルAの切欠部A2に嵌合する感触がフレキシブルケーブルAを介して得られる。また、フレキシブルケーブルAは、端子孔12a及び仮保持部材40によってコネクタ本体10の前後方向に係止される。従って、フレキシブルケーブルAが未完全挿入されるのを防止できるので、フレキシブルケーブルAがコネクタ本体10から抜け出したり、フレキシブルケーブルAの導電部A1と各端子20の弹性片部22との間に位置ずれが生じて接触不良になるのを確実に防止することができる。

【0030】

なお、前記実施形態では、弾性変形するように形成された各仮保持部材40がフレキシブルケーブルAを一時的に押圧することによって感触が得られるように構成したものも示したが、非弾性部材からなる仮保持部材を設けてもよい。

【図面の簡単な説明】

【0031】

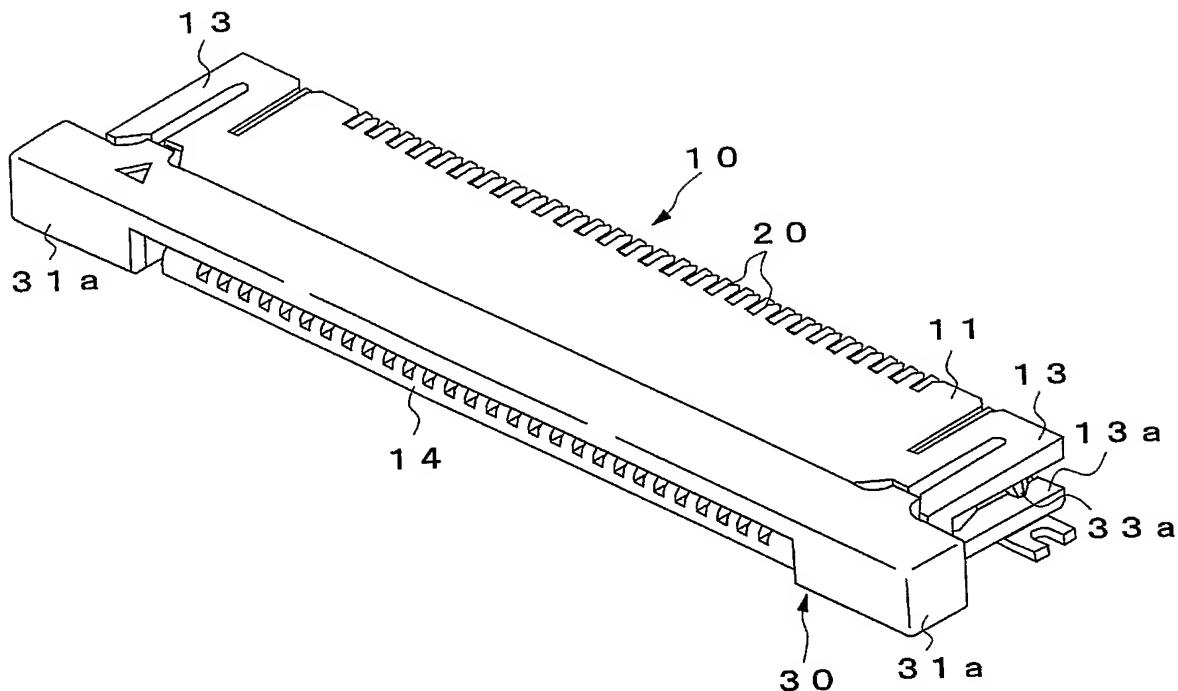
- 【図1】本発明の第1の実施形態によるコネクタの斜視図
- 【図2】本発明の第1の実施形態によるコネクタの正面図
- 【図3】本発明の第1の実施形態によるコネクタの平面断面図
- 【図4】本発明の第1の実施形態によるフレキシブルケーブルの平面図
- 【図5】本発明の第1の実施形態によるコネクタの動作を示すB-B断面図
- 【図6】本発明の第1の実施形態によるコネクタの動作を示すB-B断面図
- 【図7】本発明の第1の実施形態によるコネクタの動作を示すB-B断面図
- 【図8】本発明の第1の実施形態によるコネクタの動作を示すC-C断面図
- 【図9】本発明の第2の実施形態によるコネクタの動作を示すB-B断面図
- 【図10】本発明の第2の実施形態によるコネクタの動作を示すB-B断面図
- 【図11】本発明の第2の実施形態によるコネクタの動作を示すB-B断面図
- 【図12】本発明の第2の実施形態によるコネクタの動作を示すC-C断面図

【符号の説明】

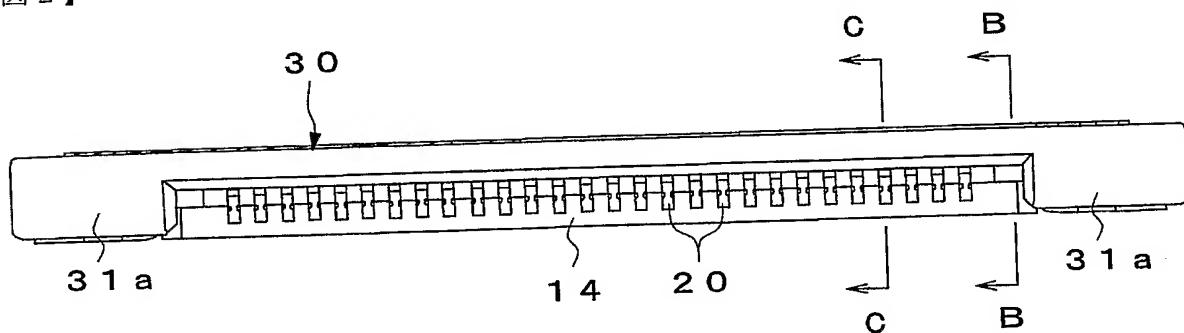
【0032】

10…コネクタ本体、20…端子、30…押圧部材、40…仮保持部材、41a…突片、42…接続部、A…フレキシブルケーブル、A2…切欠部、A2a…前端面。

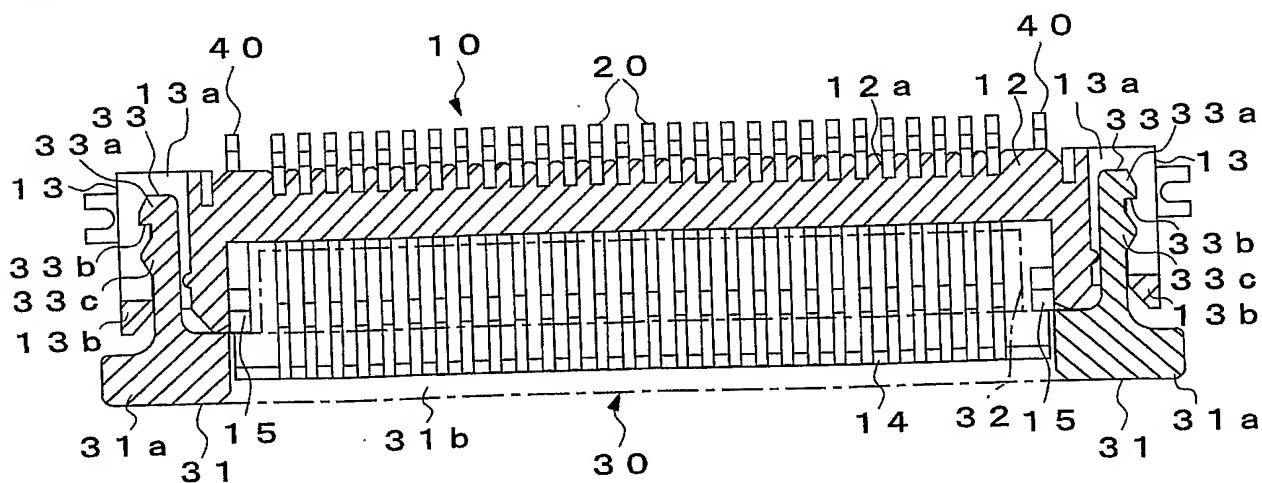
【書類名】図面
【図1】



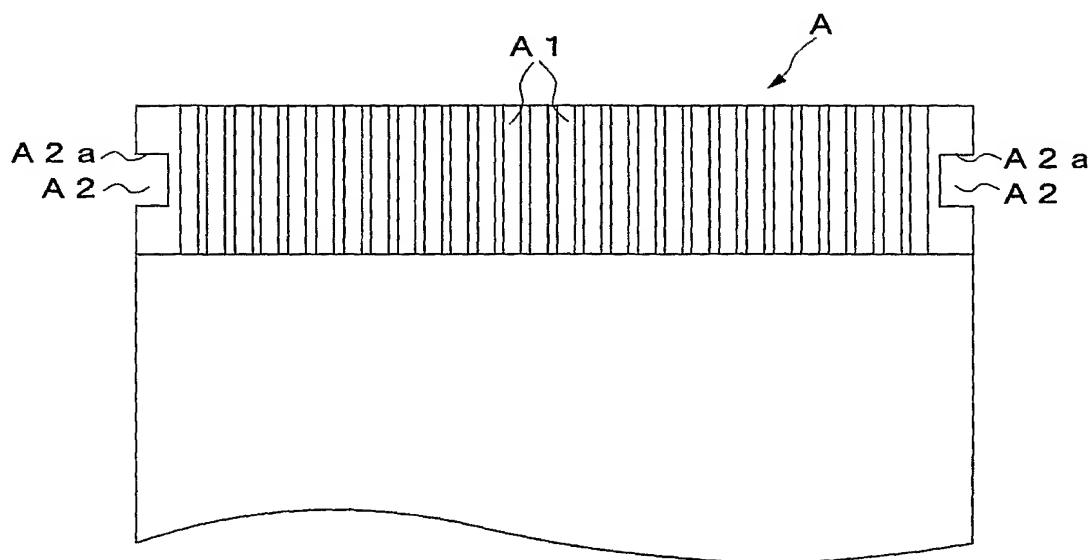
【図2】



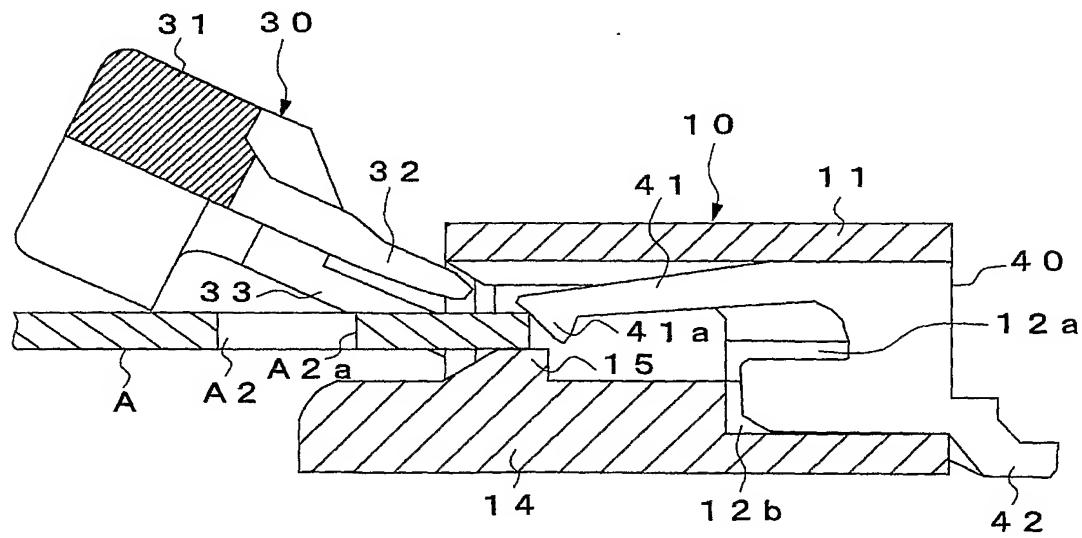
【図3】



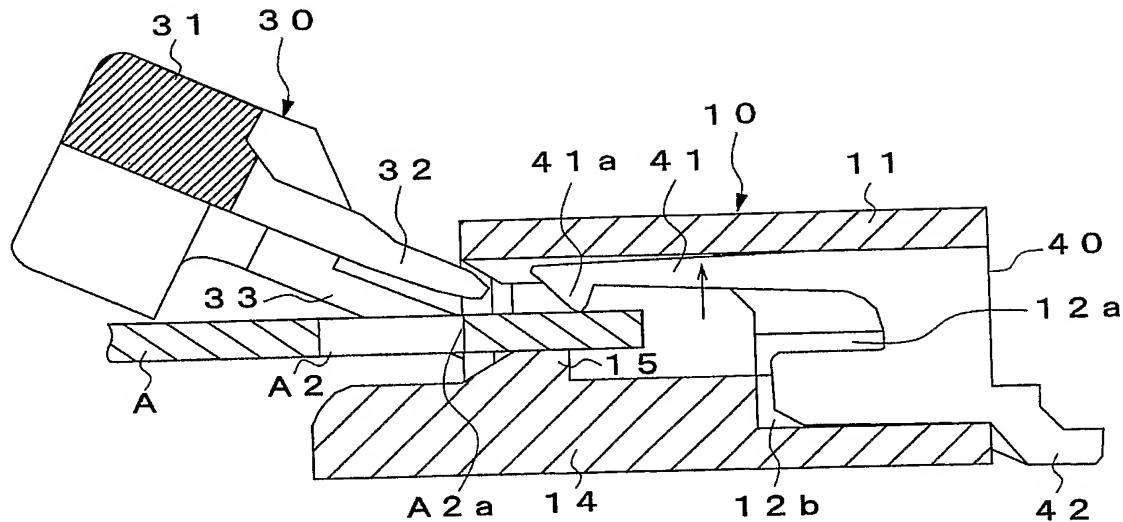
【図4】



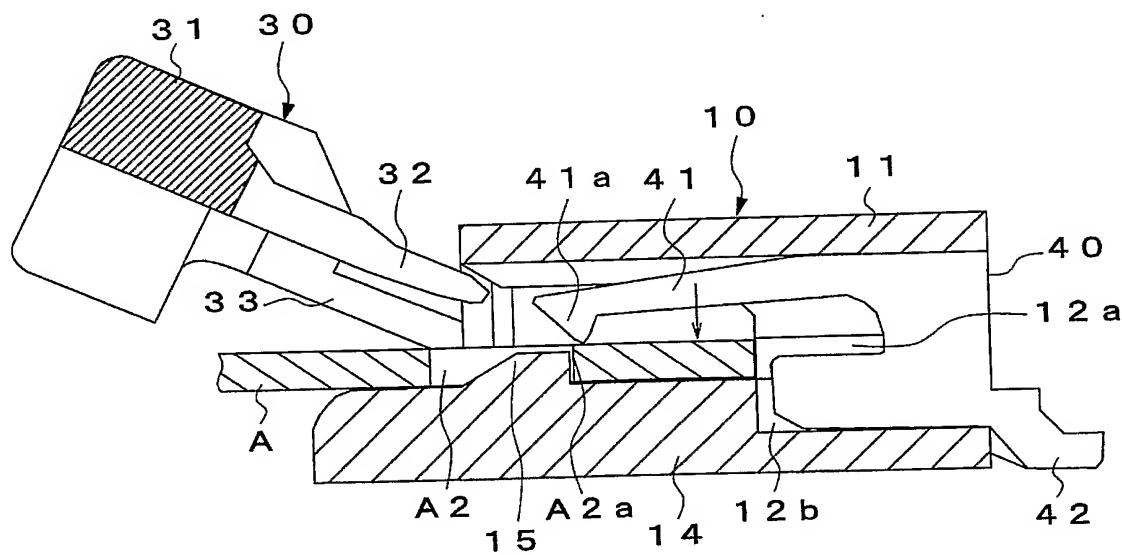
【図5】



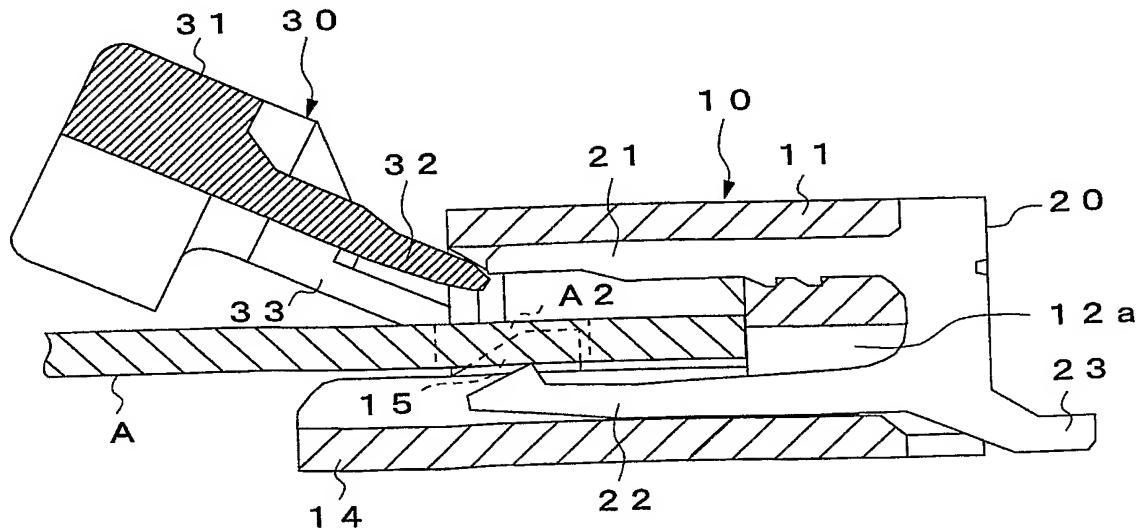
【図6】



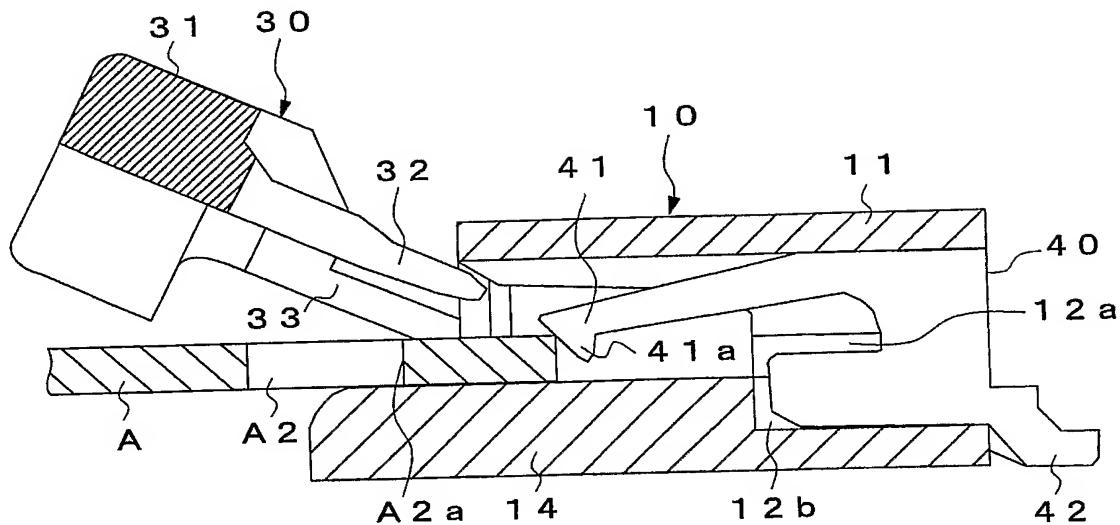
【図7】



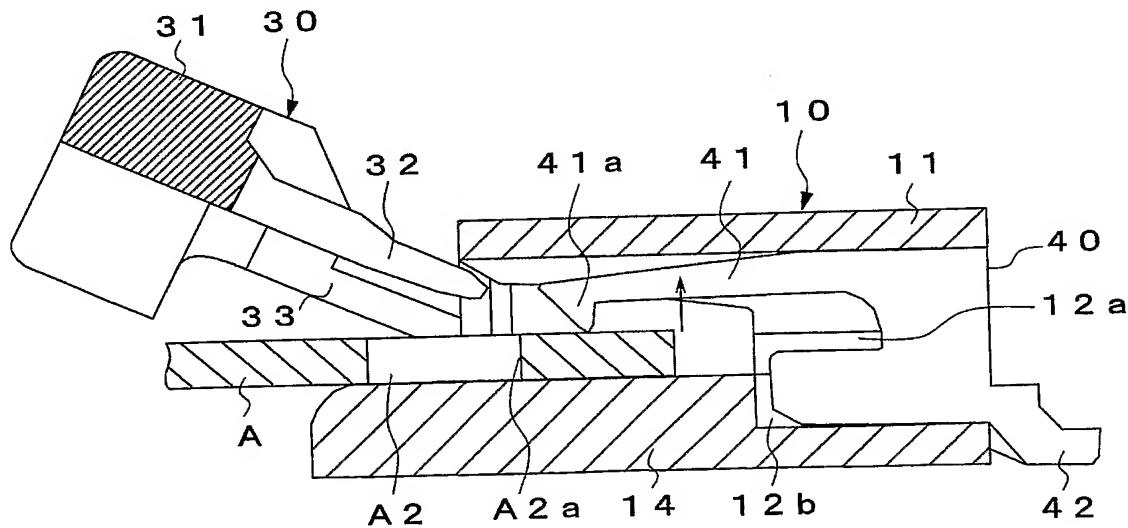
【図8】



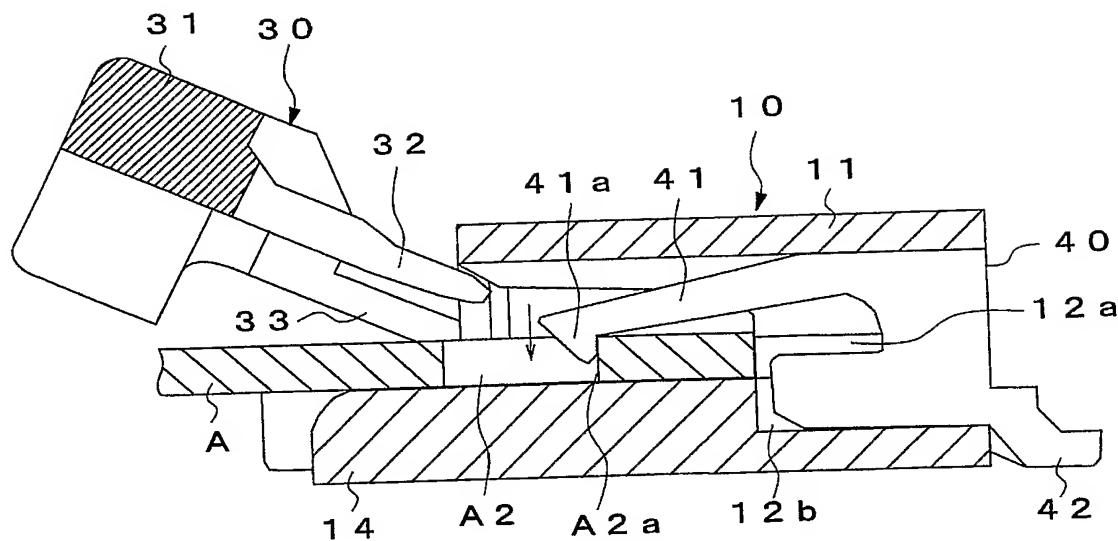
【図9】



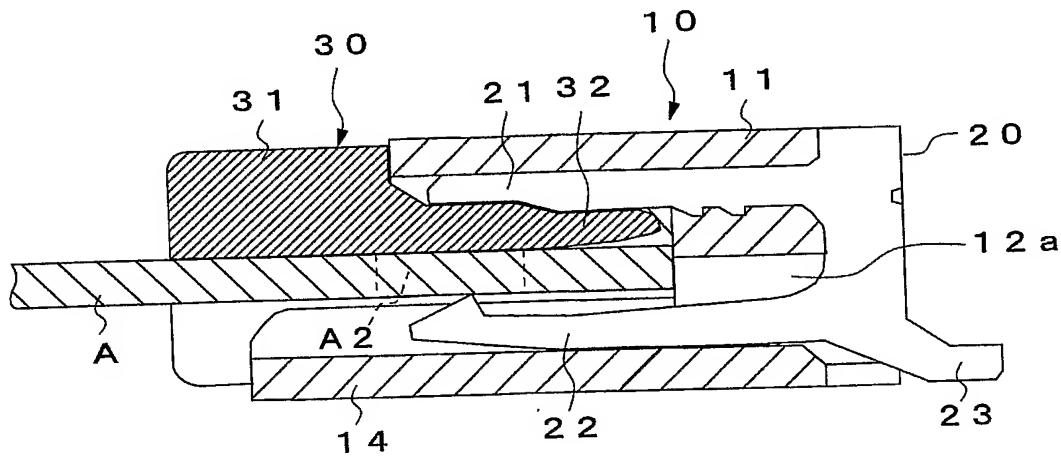
【図10】



【図11】



【図12】



【書類名】要約書

【要約】

【課題】接続対象物が完全に挿入されたことを挿入操作時の感触によって確認することができるとともに、接続対象物を確実に仮保持することのできるコネクタを提供する。

【解決手段】各係止部15を非弾性部材によって形成するとともに、コネクタ本体10の端子配列方向両端側に、コネクタ本体10内に挿入されたフレキシブルケーブルAの上面に接触しながら上方に弾性変形し、ケーブルAの切欠部A2が係止部15に嵌合すると、ケーブルAを下方に付勢しながら復元する仮保持部材40を設けたので、ケーブルAの各切欠部A2が各係止部15に嵌合したときには、仮保持部材40によって付勢されたケーブルAが下方に押圧されながら各係止部15に嵌合する感触がケーブルAを介して得られる。従って、ケーブルAが未完全挿入されるのを確実に防止することができる。

【選択図】図5

特願 2005-086397

出願人履歴情報

識別番号

[390012977]

1. 変更年月日

1995年 4月18日

[変更理由]

住所変更

住 所

神奈川県川崎市高津区北見方2丁目35番8号

氏 名

イリソ電子工業株式会社